



狩猟免許出前教室を開催します

狩猟免許を取りませんか

近年、道内における農林業被害は深刻な状況であり、その対策は緊急の課題となっています。エゾシカによる農林業被害を自ら防止するため、「わな猟」の免許を取得する農家が道内で急増しています。

「くくり罠」を仕掛けると、単にエゾシカを捕獲するだけではなく、「畑に近づかなくなる」などの効果も期待できます。

これまでに、町内では20人の農林業関係者が「わな猟」免許を取得し、所有農地におけるエゾシカ対策に積極的に取り組んでいます。「免許をどうやって取得するのか?」「どのくらいの費用がかかるか?」などをわかりやすく説明する「狩猟免許出前教室」を開催しますので、多くの方の参加をお待ちしています。

- 日時／平成26年1月10日(金)、午後1時
- 場所／役場大会議室
- 申し込み・問い合わせ／役場農林課林政係
(2階⑭番窓口 ☎485-2111内線247)

松ぼっくりでツリーを作ろう

アカマツ、カラマツ、エゾマツなど複数の松ぼっくりを組み合わせ、ツリーを作ります。

- 日時／12月7日(土)、午前11時～午後3時
- 定員／8人(小学生は保護者同伴)
- 参加費／600円(材料費)
- 持ち物／昼食、エプロン、枝切バサミ
- 集合・申し込み・問い合わせ／塘路湖エコミュージアムセンター(☎487-3003)

林業退職金共済制度(林退共)からのお知らせです

林業の仕事をしてきたことはありませんか?

林退共制度に加入していた方で、退職金をまだ受け取っていない方を探しています。

以前、林業の仕事をしていた方で、ご自身が林退共へ加入していたか分からない方もお調べします。

また、罹災された共済契約者・被共済者の皆さんに対し、各種手続(共済手帳の紛失、退職金の請求など)の必要が生じた場合は、可能な限り速やかに対応しますので、最寄

の支部または本部へお問い合わせ、相談してください。

- 問い合わせ／独立行政法人勤労者退職金共済機構林業退職金共済事業本部(☎03-6731-2887)

※詳しくは、ホームページ
(<http://www.rintaikyotaisyokukin.go.jp/>)でも案内しています。



河川の樹木伐採希望者募集

釧路河川事務所では、釧路川の洪水対策などを目的に、河川の樹木伐採を実施します。今年は、自家消費に限定した無償配布と、使用制約なしの有償配布となります。詳しくは問い合わせください。

- 伐採場所／標茶町内
- 申込期間／12月2日(月)～16日(月)
- 申し込み・問い合わせ／釧路河川事務所維持補修係(☎0154-388444)

リースを作ろう

クリスマスに向けて、松ぼっくりや木の実などを使い、リース作りを行います。

- 日時／12月8日(日)、午後1時～3時
- 定員／15人(小学生は保護者同伴)
- 参加費／500円(材料費)
- 集合・申し込み・問い合わせ／鶴居村温根内ビクターセンター(☎0154-652323)



郷土館通信

**標津線の鉄道資料
通票閉塞器が体験できます。**



中央の赤い機械が通票閉塞器

また、「入植を支えた鉄路」と題し、標津線や町営軌道標茶線の資料を展示しています。

旧標津線で使っていた通信装置、通票閉塞器を有志の方々の力を借りて修復しました。現在郷土館1階にて体験コーナーを設け、自由に触る事が出来ます。



町営軌道や標津線の切符、レールを展示

標茶町女性団体連絡協議会機関紙

女 かたらい

平成25年度 第164号 平成25年12月1日
 標茶町女性団体連絡協議会
 発行責任者 会長 山口 鈴代 標女連広報委員会

「釧路管内女性大会」に参加して

山口 鈴代

10月17日、秋空のもと釧路市阿寒町にて管内の女性大会が開催されました。

午前中は講話「世界自然遺産登録への道」を題に、世界遺産の定義などを説明していただきました。また、現在釧路湿原の世界遺産登録を目指して有識者会議を立ち上げようとしており、それには地域の盛り上がりが必要であるというのと、それは0%ではないものの厳しい現状にあるということをお話いただきました。

次に、講話「マリモの不思議」を題にお話いただきました。球状マリモは阿寒湖の地形と環境特性の相互作用によって形成されていることなどを説明され、マリモのことを知っているようで知らないと感じました。

昼食を摂り、午後から「活かそう、暮らしのチエ（こんなに便利な介護服他）」というところで、介護服の展示、説明がありました。講師の方は、友人のご主人が病で倒れて介護用の服を作りはじめたとのことでした。参加者がモデルになって試着したり、手に取って見たりして盛り上がりました。

午前、午後と勉強になり、とても有意義な一日でした。



「第64回北海道女性大会」「第61回胆振管内女性大会」に参加して

千葉 博子

今年の北海道女性大会は、室蘭市で「交わり」「つながり」「拓こう」とぬくもりのある地域をというテーマで行われました。

講演は、脱サラして家業の米屋を継ぎ、現在、有限会社「ヤマコしらかわ」代表取締役社長、NPO法人「羅針盤」理事長などの肩書きをもつ白川皓一氏による講話「このまちで生きる」を聞いて印象に残ったことを報告します。

白川氏は、「米屋のこゝちゃん」と呼ばれ、誰よりもこの室蘭のまちに昔の活気を取り戻したいという一念でさまざまなことに取り組んでいきます。どこも同じですが、港のまち、鉄のまちと栄えた室蘭も、産業の衰退や人口減少などで過疎化してきています。しかし、このまちが大好き、なんとか若者たちと一緒に、このまちで生きていきたいと模索してきました。その中から「仲間と夢を持つとう」「夢は必ず実現する」「夢をもつことは、生きる希望を持つこと」という考えになり、鉄の

まちにふさわしいものをつくらうと思いました。そこで鉄のまちらしく「鐘をつくらう」という結論になり、みんなの見える山の中腹に作りました。小さなたくさん鐘を作っていく中で少しずつはありますがかつての室蘭らしくなってきました。これは夢を持ち続け、実現したときの達成感が大きく、自信につながっていくことになると思いました。

こういう取り組みの中で、大型船からまちに乗客が上陸する時、市民がボランティアでまちの案内や通訳をしてくれ、それが「おもてなし一位」にランクされました。それが市民の心意気にもつながっていったと話されました。一人の力は小さいが、みんなで話し合い、もてる力を集めると不可能が可能になると力強く訴えていました。

心に染みる話で、とても元気ができました。どこの地域でも過疎化に苦しみ、そこから抜け出せずにいますが、自分が住むこのまちで生きる

ために、持てる力をみんなが集めていかななくてはいけないと思いました。

会の動き

- 10月17日 釧路管内女性大会
- 10月19～20日 宿泊研修
- 10月22日 役員会
- 11月1日 標茶町自治会連合会研修会
- 11月1日 役員会
- 11月23日 標茶町男女平等参画セミナー



宿泊研修

予定

■3月上旬 女性のつどい